

奥武蔵南川 花桐川ボルダー

令和5年4月16日 RCT/K

以前草木や苔を落とし下地を少し整備したままで、その後いろいろと私事で忙しく行く機会がなかった花桐川ボルダーへ久しぶりに行ってみた。時の経過とともに苔が発達し、下地も少々荒れてしまっていたが、ボルダーそのものは大きな変化はなく十分にトライできる状態であった。

まず苔落としから始めると、幾つかのホールドが磨かれたような跡があり、誰かがトライしたような雰囲気があった。これは後日ネットで調べてみると、「花桐川」では見つからず、「南川」で検索すると、以前メールを頂いたことのある「市郎さんのチャンネル」に記録を見つけることができた。

アップされている課題以外に

も幾つか既に登られている可能性があり課題が被るかもしれないが、3月から4月にかけて全体的にいろいろとトライしてみたので、ここに紹介したい。

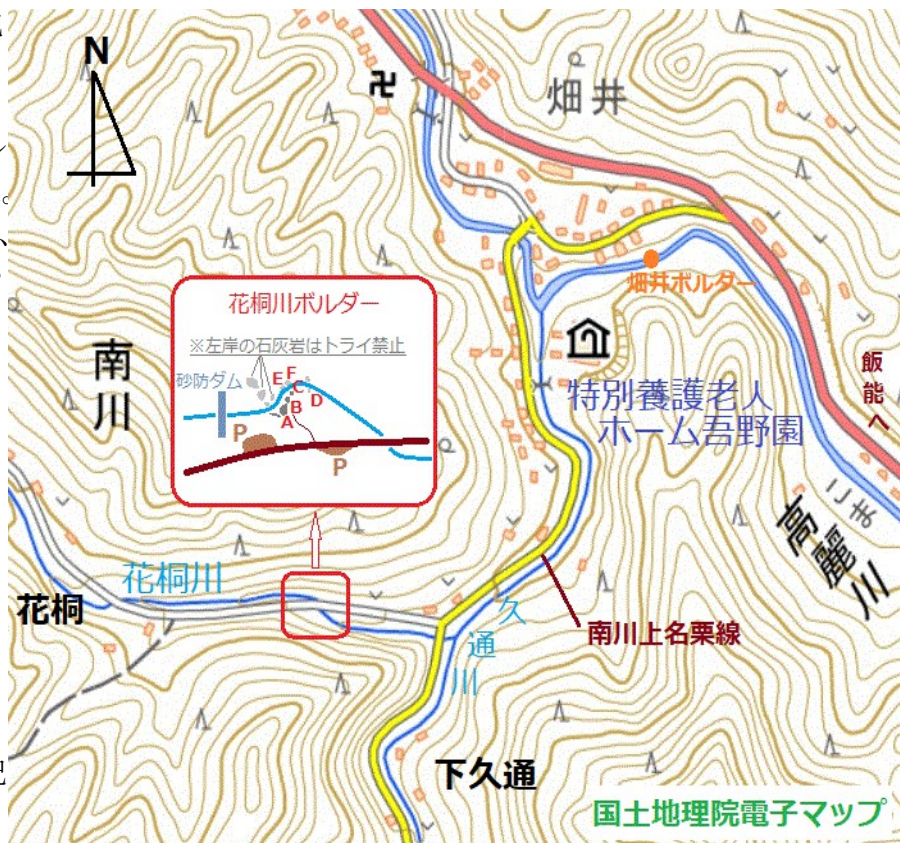
トライした岩は大小6個ほどで、岩質はチャートと石灰岩で明るい場所だが、苔が多いところから判断すると、夏は湿気が溜り易い場所のようだ。渇水期にはボルダー付近は伏流となり居心地が良いが、雨期などは川が増水し取り付きが川となってしまうようで、シーズンは秋から春頃が良さそうである。

なお山の左岸側の山の斜面にある石灰岩のボルダーには入り込まないようにと地元の方から言われたので、川の側壁以外の石灰岩ボルダーはトライ禁止である。

今回はまだまだ怪我の回復が完全ではなく、相変わらずのリハビリクライミングであったので、登れたのは易しい課題ばかりだが、今後機会があったら難しい課題もトライしてみたい。

駐車スペースは2ヶ所ほどあるが、すれ違いのための待避所にもなっているようなので、邪魔にならないよう十分な配慮が必要である。

アクセスは国道299号の南川畑井から南川上名栗線に入り、その先の花桐川を入るとすぐに駐車スペースがある。



《課題紹介》

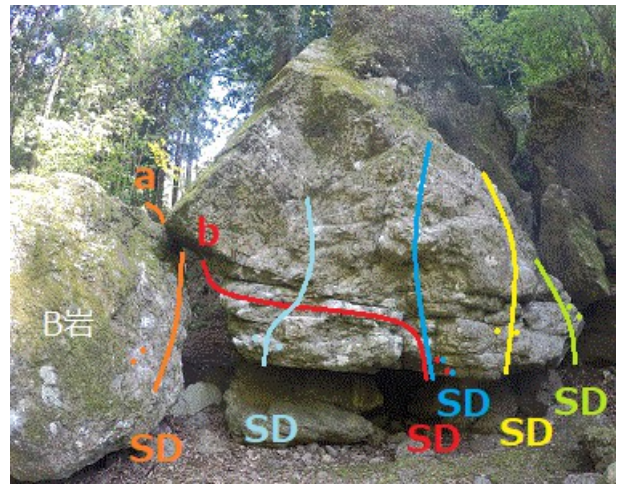
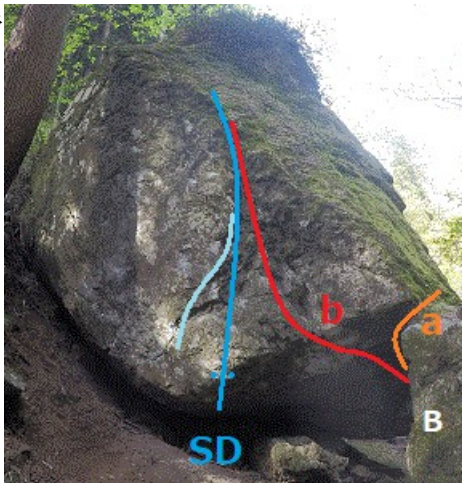
●A岩(次ページトポ左:東面 右:西面)

チャートのハイボルダーだが、上部は苔だらけで傾斜なく途中で終了となる。

東面左側は垂直のフェイスで直上は登れず。力あるクライマーなら行けるかもしれない。西面はハング上の安定したレッジで終了。

ハングのトラヴァース(b)でホールドが欠け落ちるがマットがあり大事には至らず。一応浮石は落としたので多分大丈夫と思われるがマットは必ず敷きたい。

西面の水色ライン上に小さな灌木があり、根っ子からとろうとしたら大きな浮石が落ちた。まだ少し浮いた石があるが多分大丈夫と思われる。

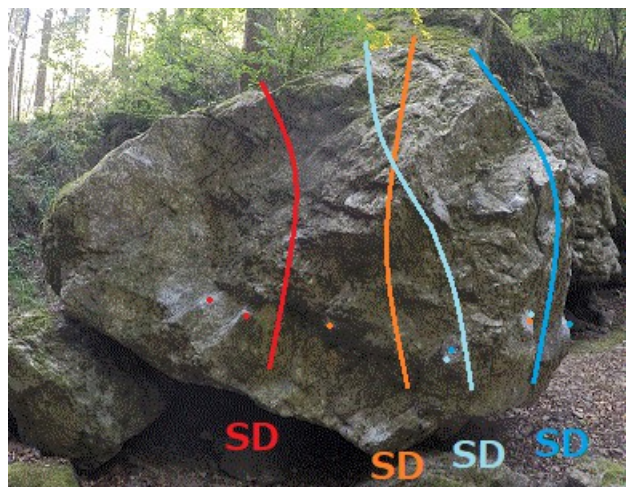


●B岩(桐岩 市郎さん命名)

水色ライン「八十五3級」と青ライン「理不尽3級」は市郎さんの課題。「八十五」は左足の立ちこみに力が入らず登れず。

赤ラインは右上の「八十五」で使う良いカチホールドを使用したがる、使用しないで左に抜けるライン(ホールドが磨かれていた)も、登られている可能性あり。

A岩側にもトンネルをくぐって抜ける課題あり。



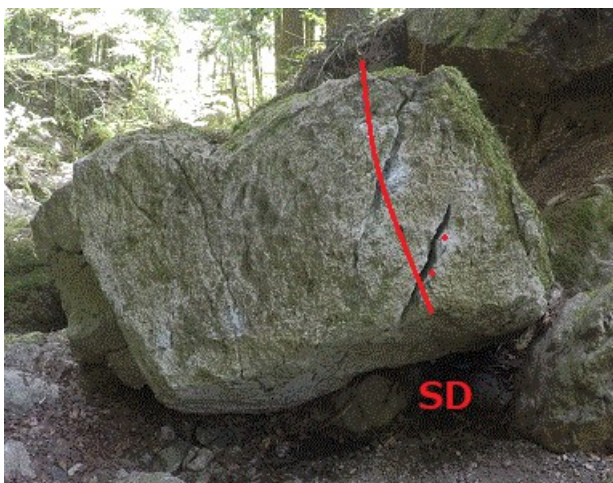
●C岩(右トポ)

下流側がハングした岩。赤ライン以外は易しい課題。赤ラインは岩に腰かけスタート。

川の増水があると、下地の石ころが流れ穴状になってしまう。またランディング付近に石もあるのでマットは必ず敷いた方が良い。



●D岩(下トポ)



C岩の下流にある小さな石灰岩のボルダー。クラックをLBで登る。右のカンテは不使用。

●E岩&F岩(トポ中左の岩:E岩 右の岩:F岩)

左岸にある石灰岩の側壁で、これは山の斜面ではなく川の側壁なので登らせてもらった。

難しい課題はないが石灰岩特有の穴を使ったムーヴが楽しい。

F岩の左側の下地は岩があるので必ずマットは敷いた方が良い。

赤ラインは、大きなフレイク不使用で左の壁の穴を使って登るムーヴが面白い。

下流側のカンテのSDは未解決。苔を落としたばかりで粉が表面に残っており手が止まらない。雨で粉粉が流れれば持てるようになるかもしれない。

